

塩竈市総合教育会議

平成29年8月9日（木）



塩竈市独自の小中一貫教育



塩竈市独自の小中一貫教育

義務教育 9 年間で、すべての子どもたちに
「社会をたくましく生き抜く力」を
身に付けさせます。

活躍する場

交流する場

成功体験

有能感(できる・分かる)

生命感(受容・承認)

達成感(達成・満足)

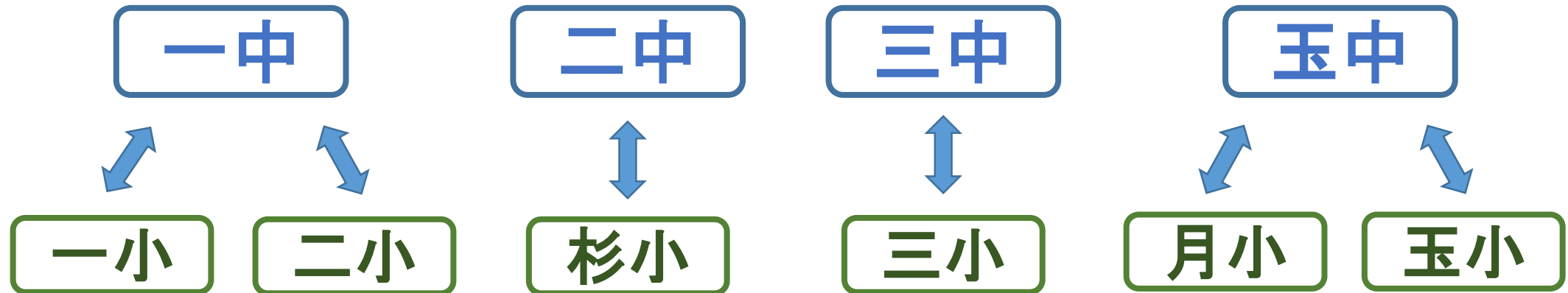
自尊感情の高揚

社会をたくましく生き抜く力

小中一貫教育を進める各中学校区

小・中学校共通の目指す子ども像

義務教育9年間で系統性・連続性のある一貫した教育

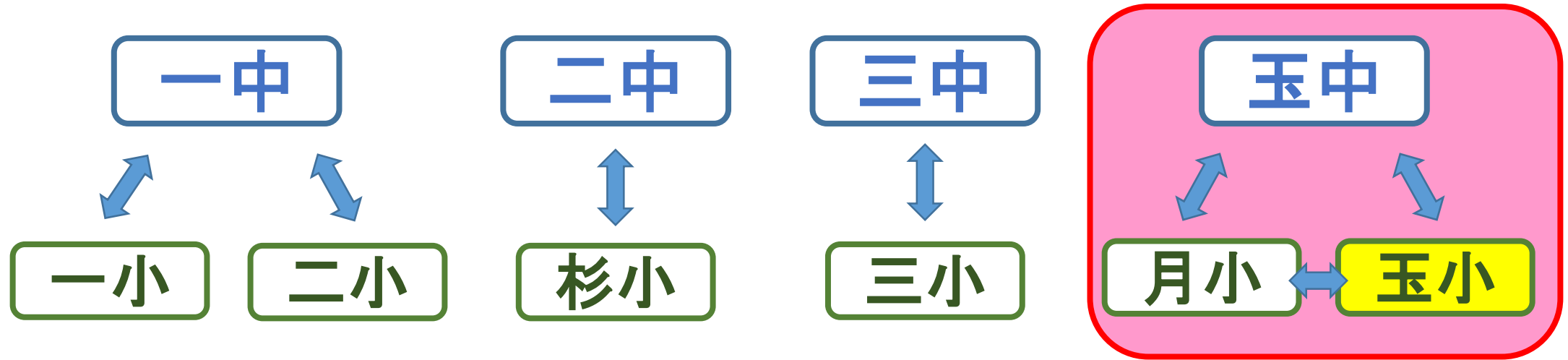


これまでの学区と施設を存続させたままの
「施設分離型」一貫教育を進めます。

小中一貫教育を進める各中学校区

小・中学校共通の目指す子ども像

義務教育9年間で系統性・連続性のある一貫した教育



これまでの学区と施設を存続させたままの
「施設分離型」一貫教育を進めます。

小中一貫教育の取組方針

「一人一人の発達・成長を支え、
一人も見捨てることなく、
良さや可能性を伸ばす教育」を行う

小中一貫教育の取組方針

「一人一人の発達・成長を支え、
一人も見捨てることなく、
良さや可能性を伸ばす教育」を行う

小中一貫教育の取組方針

- 「**学びの連続性**」を高める。
- 学力向上と不登校問題の解消に取り組む。
- 中学校区単位で協動的に取り組む。

小中一貫教育の取組方針

- 「学びの連続性」を高める。
- **学力向上と不登校問題の解消**に取り組む。
- 中学校区単位で協動的に取り組む。

小中一貫教育の取組方針

- 「学びの連続性」を高める。
- 学力向上と不登校問題の解消に取り組む。
- **中学校区単位で協動的に**取り組む。

小中一貫教育の取組方針

- 「学びの連続性」を高める。
- 学力向上と不登校問題の解消に取り組む。
- 中学校区単位で協動的に取り組む。

**→小6と中1の段差
小学校と中学校の壁 をなくす**

キーワードは

「活躍」 と **「交流」**

小中一貫教育・3つの柱

塩竈市幼保小連携事業

塩竈市学力向上プラン

中学校区単位の交流活動

塩竈市幼保小連携事業

「小1プロブレム」への対応

アプローチカリキュラム

- 幼稚園や保育所の**年長後半の指導計画**

スタートカリキュラム

- 小学1年生の**入学当初の指導計画**

塩竈市学力向上プラン

どの子ども「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくり

アクティブ・ラーニングとユニバーサルデザイン (UD)
の視点での授業改善

授業の中に「活躍する場」と「交流する場」を設定

児童生徒間交流 → 異学年交流, 学校間交流
教師間交流 → 乗り入れ授業

「アクティブ・ラーニング」とは

主体的・対話的で，深い学び

パッシブ・ラーニング

受動的な学習

教師が
知識や技能を**一方的に伝達**

教師が示す**正解を**
そのまま受け入れる

コンテンツ・ベース
知識内容の伝達が中心

一斉画一型
教師中心の**説明型**

アクティブ・ラーニング

能動的な学習

児童が
主体的に問題を発見

児童が
自ら解を見出していく

コンピテンシー・ベース
資質・能力の育成が中心

子どもが**考え判断し**
表現しながら知識・技能を
身に付けていく

「ユニバーサルデザイン」(UD)とは

すべての児童・生徒にとって
参加しやすく, 分かりやすい
授業づくり

UDの環境整備

1 物的な環境整備

- ・ 視覚情報
- ・ 聴覚情報
- ・ 教室空間

2 人的な環境整備

- ・ 認め合う人間関係
- ・ 言語環境

UDの環境整備

1 物的な環境整備

- ・ 視覚情報
- ・ 聴覚情報
- ・ 教室空間



UDの環境整備

2 人的な環境整備

- ・ **認め合う人間関係**
- ・ 言語環境



UDの授業づくりの視点

構造化	Structuring	授業全体の <u>見通し</u> を提示
共有化	Sharing	<u>ペア・グループ</u> で確認
焦点化	Focusing	授業を <u>シンプル</u> に
視覚化	Visualization	<u>見える化</u> ICT機器活用

UDの授業づくりの視点

構造化

Structuring

授業全体の見通しを提示

風切るつばさ（学習計画表）

次	時間	学習活動
第一	①	一 物語を通して内容の大体を伝え、学習の見通しを立てる。 ● 学習課題「人物どうしの関係を伝えながらクルルの心情を読み取り、クルルはなぜ飛べなくなったのか、なぜ再び飛べるようになったのかを考えよう」を確認する。 ● 物語を通して感想を交流し、これからどんな点に着目して読みたいかを確かめる。
第二	②	二 クルルとカララの関係に着目して、人物関係図をまとめ、中心となる人物クルルの心情の変化について考える。 ● 第一・二場面を読んで、事件後のクルルと群れの間々の関係を図にまとめる。 ● 第一・二場面を読んで、事件前のクルルとカララの関係を考える。そして、事件後のクルルとカララの思いや考えを読み取り、その関係を図にまとめる。 ● 第三場面を読んで、クルルが飛べなくなったときのクルルとカララの思いや考えを読み取り、その関係を図にまとめる。 ● 第三・四場面を読んで、クルルが空を飛べたときのクルルとカララの思いや考えを読み取り、その関係を図にまとめる。 ● 物語全体を通して、クルルの心情がどのように変化したのかを読み取る。
第三	③	三 クルルの心情の変化を中心に物語の感想をまとめ、伝え合う。 ● クルルがなぜ再び飛べるようになったのか、クルルの心情の変化に着目して自分の考えをまとめる。 ● 人物どうしの間を伝えながらクルルの心情の変化を捉え、自分の感想を伝え合うことができたか振り返る。 ● 人物と人物との関係を手がかりに、中心となる人物の心情について考えながら読めたかを確かめる。

学級活動

時	つばみさん	美月
四	わか葉の さきつ 大いそがし はたらきもの つうくたてきた 「だれか、手づだ てくれる人が いないかしら。」	「お手づだいに 来ました。」 色白ぼやり ウサギダイコン 何でも知ってる はたらきもの 宇佐見のむすめ
五	二週間が すぎた 「えっもう帰って しまつたの。」	「そろそろおいと まします。」 ウサギダイコンの とり入れ おぼろのききめが なくなる ダイコンをぬい ている 「かかえのダイコン 手紙 ウサギの美月も」
六	よく日 美月のために エプロンを買って 山の畑へ行った。 そとおいで帰る	「そろそろおいと まします。」 ウサギダイコンの とり入れ おぼろのききめが なくなる ダイコンをぬい ている 「かかえのダイコン 手紙 ウサギの美月も」
七	よく朝	

UDの授業づくりの視点

共有化

Sharing

ペア・グループで確認



UDの授業づくりの視点

視覚化

Visualization

見える化

ICT機器活用



乗り入れ授業

- (小→中) ・ 中1の数学
- (中→小) ・ 6年の英語
- 必要に応じて (中→小)
 - ・ 合唱, 体育, 図工などのサポート

乗り入れ授業の実際（玉中学区）

	玉中	月小	玉小	月	火	水	木	金
1校時								
2校時				移動時間(打合せ)				
3校時	10:50 ～ 11:40	10:40 ～ 11:25	10:45 ～ 11:30	中 1 数 学 玉小→玉中	中 1 数 学 玉小→玉中	中 1 数 学 月小→玉中	中 1 数 学 月小→玉中	小 6 外国語 玉 中→月 小 玉中→玉小
4校時	11:50 ～ 12:40	11:35 ～ 12:20	11:40 ～ 12:25	移動時間(振り返り)			小 6 外国語 玉 中→月 小	小 6 外国語 玉中→玉小

乗り入れ授業の実際（玉中学区）

	玉中	月小	玉小	月	火	水	木	金
1校時								
2校時	移動時間(打合せ)							
3校時	後補充を配置			中1 数 学 玉小→玉中	中1 数 学 玉小→玉中	中1 数 学 月小→玉中	中1 数 学 月小→玉中	小6 外国語 玉中→玉小
4校時				移動時間(振り返り)			小6 外国語 玉中→月小	小6 外国語 玉中→玉小

乗り入れ授業 玉小→玉中

月・火曜日

3校時

玉小→玉中

中1 数学



乗り入れ授業 玉中→玉小

金曜日

3・4校時

玉中→玉小

英語活動



中学校区単位の交流活動

	行 事	活 動
中⇒小	小学校運動会	中学生の招待リレー
	サマースクール	中学生ティーチャー
小⇒中	中学校体育祭	6年生・希望者参加
	部活動，授業体験	6年生・全員参加
小⇔中	中学校について知ろう	中1・小6交流授業

児童生徒の交流

中学生による小学校訪問



朝会・学級活動



児童生徒の交流

サマースクールの中学生による支援

夏休み



児童生徒の交流

部活動体験会



月見小・玉川小 合同



児童生徒の交流

特別支援学級の交流会



七夕会

年3回・会場持ち回り



クリスマス会

教職員による交流

小中一貫教育全体研修会

年2回・会場持ち回り



授業参観



全体会



分科会

教職員による交流

全体研修会・分科会

授業研究部

外国語班

算数・数学班

教育環境部

ユニバーサルデザイン班

生徒指導スタンダード班

交流活動部

交流班

児童会・生徒会班

教職員による交流

授業交流



数学・外国語

乗り入れ授業

小⇔中



丸1日の研修

ワンデイ研修

小⇔中



音楽・美術・体育

専門性を
生かした授業

中⇒小

塩竈市独自の小中一貫教育

義務教育9年間で、すべての子どもたちに「社会をたくましく生き抜く力」を身に付けさせます。

〈小中一貫教育の取組方針〉

「一人一人の発達・成長を支え、一人も見捨てることなく、良さや可能性を伸ばす教育」を行う

- 小・中学校の「学びの連続性」を高め、教育活動の質的向上を目指します。
- 「中1ギャップ」等の発達上の段差に適切に対応し、学力向上と不登校問題の解消に取り組みます。
- 中学校区単位で、多様化・複雑化する教育課題に協動的に取り組みます。

活躍

塩竈市幼保小連携事業

「小1プロブレム」への対応

- ・授業中に立ち歩く
- ・話を静かに聞けない
- ・床に寝そべる
- ・身勝手な行動や言動

幼稚園・保育所等と小学校との滑らかな接続を図るために、次のカリキュラムを作成・実施します。

アプローチャリキュラム
…幼稚園や保育所年長後半の指導計画

スタートカリキュラム
…小学1年生入学当初の指導計画

専門家を派遣

幼保小の連携強化を図るために、小学校入学に向けた学びの基礎づくりを支援します。

交流

塩竈市学力向上プラン

どの子にも「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくり

アクティブラーニング^{※1}とユニバーサルデザイン^{※2}の視点で授業改善を行います。

授業の中に「活躍する場」と「交流する場」を設定

授業の中の様々な交流の例

児童生徒間交流

…学校内の異年齢交流や中学校区内の学校間交流など

教師間交流

…中学校区内の相互乗り入れ授業^{※3}や小中合同授業など

中学校区単位の交流活動

- ・小・中学生合同の挨拶運動
- ・中学生が小学校のサマースクール支援
- ・中学生が母校で清掃ボランティア等

- ・小・中教員による異校種でのフンデ研修
- ・中学校区合同研修会
- ・中学校区合同研究授業等

- ・中学校区の児童生徒による合同行事
- ・学校・家庭・地域が一体となった取組等

※1：教員による一方的な講義形式の授業ではなく、学習者の主体的な学習への参加を取り入れた教授法（主体的・対話的で深い学び）

※2：すべての児童生徒にとって、参加しやすい授業づくり・分かりやすい授業づくりを行うという考え方

※3：小・中学校の教員が、互いに異校種の学校で授業を行うこと



吹奏楽部が小学校を訪問

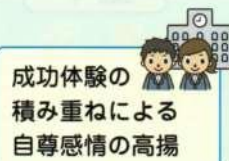


児童会の活動を中学校で紹介



中学校英語の先生が小学校へ

一貫教育のキーワードは「活躍」と「交流」



成功体験の積み重ねによる自尊感情の高揚



中学生が小学校で挨拶



中学生による母校での清掃活動



塩竈市が小中一貫教育を実施するねらいは何ですか。

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中で、社会の変化に主体的にかかわり、社会において自立的に生きていくための力強いエンジン（社会をたくましく生き抜く力）を、義務教育9年間で、一人一人の児童・生徒の中につくりあげることを目指すものです。

塩竈市の目指す小中一貫教育制度とはどのようなものですか。

組織上独立した小学校及び中学校が、現行制度（義務教育6・3制）の枠の中で一貫した教育課程を編成・実施する「小中一貫型小・中学校」の体制及び「施設分離型」の施設形態により、系統的・連続的で一貫性のある教育を推進していきます。

社会をたくましく生き抜く力を育成する流れ



小中一貫教育を進める各中学校区

これまでの学区と施設を存続させたままの「施設分離型」一貫教育を進めます。

小・中学校共通の目指す子ども像

義務教育9年間で系統性・連続性のある一貫した教育活動



※浦戸中は平成27年度から施設一体型小中一貫校となりました。

※二小からは一中と二中に進学しますが、当面一中との一貫教育を進めます。

本日は よろしくお願いいたします